

令和元年度 第17回「まちづくり会議」概要 柏野地区

日 時：令和元年9月19日（木） 19：30～20：30

場 所：柏野公民館

参加団体等：元気な柏野地区にする会、公民館運営審議委員、柏野地区町内会長会、社会福祉協議会、防犯協会柏野支部、交通安全協会、柏野地区体育協会、柏野柏親会、柏野壮年会、婦人代表、柏野地区子ども会、じょんがら保存会、健康づくり推進員、食生活改善推進委員など

発言【1】

大規模災害時（千葉県と同規模）の対応について

【市】

電柱の耐風力設計は全国統一で、大よそ 40m/s です。本市でも大きな台風が来れば、千葉県と同様な被害が想定されます。この様な大規模災害時では、市のみで対応は困難である為、国、県、電力事業者等の関係機関と連携深め、対応してまいります。

災害に対しては、3日間は自分たちのことは自分たちで守るという姿勢と、早めの避難が大切です。そのためにも、地区において防災訓練を行うことが一番重要と考えています。みんなで集まって消火器で火事を消す、AEDを使ってみる、携帯トイレを使ってみる、防災食を食べてみるなど、訓練することが被害を減らすことに繋がります。市では、防災食、携帯トイレ、消火器等の提供・協力を行っていますので、柏野地区においても防災訓練を実施していただきたいと思っています。

また、柏野公民館は建設から38年が経過しています。今年度、美川地域の湊公民館をマンホールトイレ等を備えた湊防災コミュニティセンターとして建設しています。そのあとは、宮保公民館と笠間公民館の建設を令和2年から、柏野公民館は令和4年から5年ぐらいでの建設を予定しています。その時には、湊公民館のように防災の機能も備えた施設としたいと考えています。

発言【2】

まちづくりの成功例や具体的な事例について

【市】

具体的な事例としては、防災の取り組みを行っている山島地区や高齢者の徘徊対策に取り組んでいる千代野地区があります。

白山市市民提案型まちづくり支援事業

- 山島 安心・安全なまちづくり事業（山島新しいまちづくりの会）
 - ・防災や防犯、見守りに関する事業を行った。
- 千代野はいかい対策事業（千代野はいかい対策委員会）
 - ・講演会やワークショップの開催、千代野地区近隣にも参加を呼びかけた。

また、10月6日（日）に市内でまちづくり活動に取り組んでいる団体の発表会があり、事例発表やワークショップが行われました。課題解決へのヒントとなるよう情報交換を図る場でもあり、まちづくり塾生の皆さんにも参加いただきました。

石川地域づくり協会白山・野々市エリア会議

- 千代野はいかい対策事業（千代野はいかい対策委員会）
- 東大寺領横江荘・誕生1200年祭（東大寺領横江荘荘園まつり実行委員会）
- ひまわりの集い（ひまわりの集い実行委員会）
- 白峰林泊推進協議会

その他、「市民協働で創るまちづくり」について、まちかど市民講座等の要望があれば町内・地区に出向き、具体的な事例等も紹介していますので、ぜひ、活用していただきたいと思っています。

発言【3】

柏野地区の時間帯進入禁止について

【市】

柏野地区の時間帯進入禁止につきましては、住民の総意として、町内会長名で時間帯進入規制の要望を市に出していただければ、白山警察署に市長名で要望書を提出いたします。

ただし、時間帯進入禁止は、住民の方も対象となります。毎年、通行証の発行の手続きが必要となりますので、地区住民の皆さんの理解と協力が必要となります。

他の地区でも同様の事案があり、美川地区と白峰地区では「ゾーン30」が導入されています。ゾーン30は、一定のエリア内を30キロ規制に県公安委員会（警察）で指定してもらい、警察で主要な入口に規制標識を設置します。それと同時に市がゾーン30内である旨の路面標示等を行います。主に生活道路や通学路等で指定されています。こちらも住民の総意として警察へ要望が必要です。

企業へ通勤する車の運転マナーにつきましては、工業団地の各運営協議会の事務局長を通じて各企業に周知しているところではありますが、今後も周知を継続してまいります。

発言【4】

通学バス停前のカラーペイントの要望について

【市】

通行する車両の速度の減速につきましては、警察等と道路規制の協議をしていただきたいと考えています。道路のカラーペイントにつきましては全ての地区要望に応えることは難しいと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

通学路の区画線の引き直しにつきましては、リフレッシュ事業として除雪作業が終了し、新学期が始まるまでに行いたいと考えています。また、横断歩道や停止線についても警察等へ要望してまいります。

発言【5】

健康都市宣言の数値目標について

【市】

総合戦略という市の計画では、各重点施策に目標値（KPI）を設定し、毎年検証を行い、施策の改善に努めています。「健康都市宣言」としては、目標値を設定していませんが、市民の皆さんの健康につながる施策について、目標値を設定しています。皆さんの健康に関する様々な活動への支援も含め、施策を進めることで健康寿命の延伸を図りながら、健康都市を目指してまいります。

発言【6】

住みよさランキング全国1位になった要因について

【市】

白山市が、住みよさランキング1位に選ばれたのは、生活が変わったからではなく、これまでの算出指標を、時代に合わせて見直した結果、総合的に1位になったということです。

今回、新たに指標に加わった「子どもの医療費助成」「刑法犯認知件数」の『安心度』や、「水道料金の安さ」「転出入人口比率」の『快適度』などが高く評価されています。これは行政のみならず、本市に関係する全ての方の取り組みについて、評価をいただいたものと思っています。これからも、オール白山体制で頑張ってまいりますので、よろしくようお願いいたします。